第１学年３組　道徳科学習指導案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 家庭や地域と連携した教科学習計画 | | |
| 月 | 教科 | 内　容 |
| ４  ５  ６  ７  10  11  12  １  ２  ３ | 生活  生活  生活  道徳  生活  道徳  道徳  生活  生活  道徳  生活  国語  学活  道徳 | 「よろしくね」（６年生）  「たねまき」（６年生）  「学校探検」  ・学校ビンゴ（２年生）  ・サインを集めよう  　（教職員、全校児童）  「かぞくとおはなし」  Ｃ（13）家族愛、  　　　家庭生活の充実  「水鉄砲で遊ぼう」（６年生）  「ありがとうがいっぱい」  Ｂ(7）感謝  「公園探検」「校外学習」  「とりかえっこ」  Ｃ（14）よりよい学校生活、集団生活の充実  「あきのおみせやさん  　　　けいかく」（園児）  「これならできる」  Ｃ（13）  家族愛、家庭生活の充実  「かぞくはなかよし」  「小学校のことをしょう  　かいしよう」（園児）  「しん１年生たいけん入学」  「みんなみんな、ありが  　とう」Ｂ（７）感謝 |

１　主題名　がっこうでたのしく〔内容項目C－（１４）：よりよい学校生活、集団生活の充実〕

　　＜教材名　「とりかえっこ」＞出典：「きみがいちばんひかるとき道徳１年」光村図書

２　ねらいとする価値について

　　人はさまざまな集団や社会に属して生活している。児童にとって、学校や学級は、社会と自分を結びつける人間関係の基盤であり、集団活動や社会生活の基礎となっている。そこで、友達や上級生、教師など、さまざまな人々との関わりから学級や学校生活に目を向け、集団への所属意識や愛着を高める。そして、学校生活をより楽しくしようとする意欲や態度を育むようにすることが大切であると考える。

３　子供の姿

　　本学級の児童は、新しい環境の中でも様々なことに取り組み、休み時間には、楽しく友達や上級生と過ごす姿が見られる。一方で、ひらがなやかたかな、漢字など小学校の学習に苦戦する姿も多くみられる。また、４月に比べて、小学校に対する期待や入学時の新鮮な気持ちの薄れ、小学校と園とのギャップを感じている姿がある。

４　教材と指導について

　　小学校が嫌になり幼稚園に戻った主人公のけんごは、「とりかえっこ」を通して、小学校生活のよさや楽しさに気付き、やはり小学校に行きたいと考えを変える。幼稚園に戻りたいと思うけんごの気持ちに共感しながらも、児童自身が今まで経験した小学校での楽しいことやできるようになったことなどについて振り返り、その上でけんごの気持ちの変化を捉える。「深める」の終末では、保育園の先生をゲストティーチャーに招くことで、成長した自分自身や、今後の学校生活を楽しくするためにできることについて考えるようにしたい。

５　地域と連携した学習

本学校の隣には保育園があり、小学校の運動会や学習発表会の練習見学、園児向けのおもちゃまつりの開催など、１年を通して何度か交流を行っている。また、２年生や６年生といった上級生との交流を行い、成長した２年生や、学校を支えている６年生の姿を身近に感じ、自分も学校の一員としてがんばっていきたいという思いにつなげる。本時では、登場人物と自分自身を重ね、今後、もっと成長したいという思いや学校生活を楽しもうとする気持ちを高められるようにする。

６　本時の学習

(１)本時のねらい

登場人物の気持ちの変化に目を向けることで、学校での生活を楽しくするためにできることについて考え、その実践意欲を高める。

(２)本時の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 児童の活動 | 〇伝え合うための工夫  ・その他の手立てや留意点 |
| つかむ（５） | １　１と２の漫画を見て、学校生活を振り返る。  ・登下校は大変だよね。  ・勉強や宿題も、毎日すごく大変。  ２　本時のめあてをつかむ。  がっこうでのせいかつを　（たのしくするために）　できることを　かんがえよう。 | 〇小学校が大変という気持ちや経験を引き出すために、教科書の漫画をもとにクラス全体に投げかけて挙手を促す。　　（導入の工夫） |
| 深める（35） | ３　「とりかえっこ」（３～１２まで）を読んで、話し合う。  小学校へ行っているけんごは、幼稚園でどんな楽しいことを見つけたでしょう。    ・砂場やブランコで遊べて楽しいな。  ・去年のままだから、遊び方も知ってるよ。  ・知ってるダンスも踊れたよ。  ・難しいことも何もなくて、いいね。  ４　続き（１２～２０）を読んで、話し合う。  幼稚園での１日を振り返ったけんごは、どんなことを思ったでしょう。  きょうのぼくは、  ・楽しく、遊んでいただけだったな。  ・新しく覚えたことは、何もなかったな。  ・友達も増えていないし、何も変わっていない。  ・ぜんぜん、進化しなかった。 | ・話の流れを理解しやすくするために、漫画のコマをスライドショーにして、提示をする。  ・話の内容や展開をいつでも振り返ることができるように、展開部分の重要なコマをホワイトボードに貼ったり、スライドショーで提示したりする。  ・幼稚園で楽しそうなけんごの様子を提示して、考えをゆさぶる。  ・自分の考えがもてるよう、ペア相談タイムを設ける。  ○幼稚園で「できることばかりで嬉しい」、小学校で「新しいこといっぱいで楽しい」の違いを明確にするために、小学校でのけんごの様子を場面絵をもとに確認する。  （話し合いを深める工夫） |
| 振り返る（５） | ５　もっと学校生活を楽しくするために、やってみたいことについてワークシートに書き、発表する。  「明日もとりかえっこしてくれる？」と聞かれて、「だめだよ。」と言ったけんごになりきって、自分の考えを書いてみよう。  あしたは、ぼくが小学校で  ・友達やお兄さんと一緒に遊ぶのだから。  ・新しい友達をつくるのだから。  ・新しい漢字の勉強をするのだから。  ・足し算や引き算の計算をたくさん解くのだから。  ・２年生にむけて、進化していくのだから。 | ・これからの小学校生活で頑張っていきたいという子供たちの意欲を高めるために、保育園の先生をゲストティーチャーに呼び、子供たちの成長について話をしていただく。  ○ワークシートに、学校生活で楽しみにできることを考えて、「あしたは、ぼくが小学校で」に続けて、自分の意見を書く。　　（振り返りの視点） |